

# 環境県民フォーラムだよ！

VOL. 38 2016年10月1日 発行



平成28年度フォーラム総会を開催しました！  
奈良県環境総合計画（2016-2020）を協働で推進していきます

## 【第1部 総会】

4月19日、奈良県文化会館で平成28年度総会が開催されました。楠下代表委員より、設立後19年目を迎えるフォーラムの更なる活動の展開を目指し、今年度の活動計画に準拠して取り組んでいく旨の挨拶がありました。また来賓の奈良県景観・環境局の柘田理事より、今年度の奈良県の取り組みや新たな環境総合計画の推進を含めてご挨拶をいただきました。奈良県環境政策課からは柳原課長、上島主幹にもご出席いただきました。また学識経験者として奈良教育大学名誉教授の松村様、奈良女子大学名誉教授の大石様にもご出席いただきました。



楠下代表委員及び奈良県景観・環境局柘田理事による挨拶

平成27年度事業報告・  
平成28年度事業計画について

平成27年度事業報告について事業実績の確認、全体事業及び分科会事業の説明、収支決算、会計監査報告があり、承認されました。次に10人委員会委員の選任が行なわれるとともに、平成28年度事業計画、予算案について審議が行われ、満場一致で承認されました。各分科会の重点テーマ、主な実施予定の事業は下記のとおりです。

- エネルギー分科会  
植樹バスツアーやエコクッキング教室の開催、エネルギー講演会の企画開催
- エコライフ分科会  
浄化槽、下水道を含めた処理の普及率向上を目指した啓発活動の実施推進
- 自然環境分科会  
自然体験教室や自然環境セミナーの企画実施
- 資源活用分科会  
環境にやさしい買い物キャンペーンやリサイクル関連施設見学会の開催など

## 寄付金授与及び感謝状贈呈式

イオンリテール株式会社様及び市民生活協同組合ならこぽ様から環境県民フォーラムへの寄付を受けて、楠下代表委員から感謝状の贈呈が行なわれました。イオンリテール株式会社様からはイオン奈良店の副店長 桐山誠夫様、ならこぽの副理事長 中野素子様にご出席いただきました。



イオンリテール株式会社様



市民生活協同組合ならこぽ様

(事務局)

## 【第2部 フォーラム交流会】

総会に引き続き、交流会が開催されました。奈良県環境政策課の芳川係長より、平成28年3月に策定された「奈良県環境総合計画（2016～2020）」の概要と重点テーマについてご講演いただきました。

基本理念は「豊かな自然と歴史との共生、美しい景観と持続可能なくらしの創生」とし、7本の施策体系で推進することになります。フォーラムとしても各地域での活動を通じて協働で推進してまいります。

また、やまと菜の花ねっと実行委員長の 大石様より、4月9、10日に開催された「第16回全国菜の花サミット in やまと」について実施報告をしていただきました。各地から多くの方に参加していただき、奈良県での取り組み事例を全国に発信できたとのことでした。その他、会員同士による貴重な意見交換が行なわれ、相互の交流の良い機会となりました。

## エネルギー分科会 施設見学会を実施しました

2月23日（火）に、奈良県次世代エネルギーパーク体験ツアーとして2つの施設（バイオマス発電所：クリーンエナジー奈良、小水力発電設備：桜井浄水場）見学・勉強会を行いました。

まず、バイオマス発電を行っているクリーンエナジー奈良の吉野発電所は、県下の大淀町にあり、木質バイオマス100%（間伐材などの未利用木材）を燃料とした火力発電所（2015年12月より売電開始）であり、発電出力6,500kWで約1万2000世帯分の電気を供給できるそうです。見学後の質疑応答においては、見学者の方々から多くの質問もあり非常に関心が深く、今後のバイオマス発電の動向に注目が集まっていると感じられました。

次に、奈良県桜井浄水場では、接合井と原水貯留池との標高差（有効落差：29m）を利用した小水力発電システムによる発電（2010年4月より発電開始）を行っていて、最大発電出力197kWで年間発電量は約156万kWhを見込んでいて、つくられた電気は桜井浄水場内の電力として利用されており、浄水場の約40%の電力をまかなっているそうです。これは、一般家庭420世帯が1年間に使用する電力に相当し、年間467トンの二酸化炭素を削減できるそうです。今後もこのような水力発電システムが普及することを期待しております。

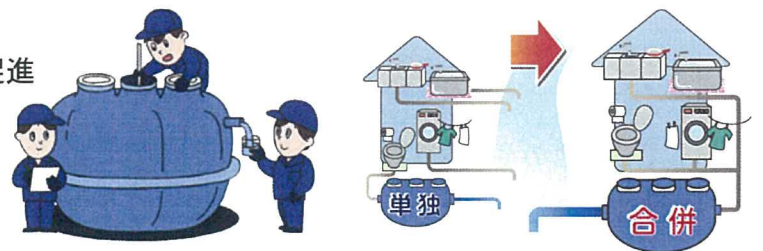
（奈良環境カウンセラー協会 阪元）



## エコライフ分科会

平成28年度のエコライフ分科会の活動計画では、“河川浄化への啓発”と“地域が育む川づくり”の二つのテーマで活動しています。特に“河川浄化への啓発”では、生活排水を改善することが河川浄化に繋がるとして、引き続きアクリルたわしの講習会やイベントでの配布を行うと同時に、県の汚水処理事業への県民の理解と協力についての啓発に努めたいと思っています。平成28年6月に「奈良県汚水処理構想」の見直しが行われました。この中で、今後の汚水処理事業の計画および課題が述べられています。汚水処理施設の計画では、平成38年を目標に、汚水処理人口普及率を奈良県全体で95%を目指すとしています（平成26年度末87.5%）。汚水処理方法では、下水道と合併浄化槽の一人当たりのコスト（建設費+維持管理費）を見た場合に、人口密度によってどちらが有利かという均衡点があり、今回の計画では人口密度の小さい一部の地域で下水道計画区域を縮小しています。目標達成には、県民の理解と協力が必要であり、その主なものについて次に示します。

- ① 単独浄化槽から合併浄化槽への転換の促進
- ② 下水道接続の促進
- ③ 公正な下水道料金の徴収
- ④ 浄化槽法で要求される事項の順守



これらの課題をまとめ、行政とも協力し、各地の環境行事の際に県民の理解と啓発を行っていきたいです。  
（奈良環境カウンセラー協会 橋本）

# 資源活用分科会 第1回見学会 報告



7月12日に「豊中市伊丹市クリーンランド、リサイクルプラザ」、また豊中市にある「緑と食品のリサイクルプラザ」、「豊中市eMIRAIE」の3施設の見学を行いました。

「豊中市伊丹市クリーンランド」は両市域において排出された家庭系のごみや事業系の一般廃棄物を受け入れ、中間処理を行うクリーン性能を徹底的に追求した高機能焼却施設です。クリーンな焼却を目指して安心・安全を第一に考え、ごみの焼却をしたときに出る熱を利用して水蒸気を発生させ、蒸気タービンで発電を行うなどエネルギーとして生まれ変わっています。「リサイクルプラザ(愛称豊中伊丹スリーR・センター)」ではプラスチック製容器包装、ペットボトル、びん類、缶類、不燃ごみ、粗大ごみが運び込まれ中間処理されます。この施設は分別収集区分に対応し、ゴミの資源化を通してさらなる循環型社会形成の推進を目指しています。また3Rの実現に向けた積極的な取り組みも行われています。

次に見学した「緑と食品のリサイクルプラザ」では、学校給食の調理くずや食べ残しなどの生ごみに街路樹などの剪定枝を混ぜて「とよっぴー」(土壌改良材)を製造しています。豊中市立eMIRAIE(豊中市立環境交流センター)では地球環境の保全などに関する活動のための交流と情報の提供を行っています。今回見学会に参加し、ごみの減量と分別の必要性を感じました。またごみを少なくする工夫3つのR(リデュース、リユース、リサイクル)についても考えさせられた1日となりました。

(市民生活協同組合ならコープ 平井)



## 自然環境分科会 夏の里山体験(ブルーベリー摘み)を実施しました



8月28日、夏の里山体験(ブルーベリー摘み)を実施しました。今年は大人と子ども合わせて23名が参加しました。この里山体験は平成23年から続けており、以前は秋の里山体験で「クリスマスリース作り」をしていましたが、環境市民ネットワーク天理の会員である「木の子村」さんの農場でブルーベリーがたくさん収穫できるようになったので、夏に実施することになりました。「木の子村」さんは、無農薬で作物を作っており、原木からシイタケ作りもされています。今回収穫したブルーベリーは、毎年11月の「落葉かき」で集めたイチョウ等の葉を肥料として作られたものです。これにより、ブルーベ

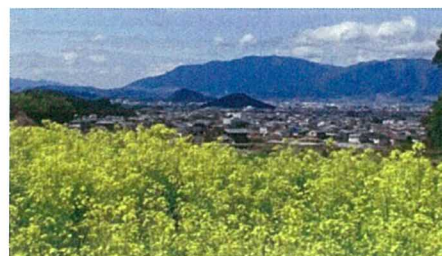
リーの大きさが1.5倍になり、更に甘くなりました。

まず天理市役所に集合し、各自の車や乗り合わせで天理市上仁興町の木の子村農場に移動。

「里山の役割」等の説明を聞いた後、お待ちかねのブルーベリー摘みです！手を紫にしながらかく完熟したブルーベリーを摘み、「甘い！大きい！」と子ども達も大人達も大騒ぎしながら食べ、お土産にも持って帰ることができました。

今年は雨が降りだしたので行きませんでした。農場の裏山の谷間に仁興川の源流である湧水が湧いています。この川が天理ダムに入り大和川となっており、ここで「大和川の源流」の観察も天候が良ければ毎年実施しています。

(NPO 法人環境市民ネットワーク天理 中嶋)



## 全国菜の花サミット in やまと 第1日 (4/9)

「第16回全国菜の花サミット in やまと」が4月9日・10日に奈良県において開催されました。9日は、シンポジウムが桜井市民会館において、10日の分科会が3会場で行われました。9日のシンポジウムは、約700名の参加者があり、盛況のうちに終了しました。地域活動報告として、「やまと菜の花マラソン」が、奈良、天理、桜井、宇陀、明日香、高取、葛城、斑鳩、田原本、生駒、ナルクの順番でリレートークがなされました。基調講演は、山田法胤薬師寺管主の「足るを知る心とは」と題してのお話でした。パネルディスカッション「循環型社会へ向けて菜の花でつなぐ日本の『道』」と題して、藤井絢子コーディネーターと4人のパネリストにより行われました。最後にサミット宣言が奈良女子大学の学生2人により宣言され、無事終了いたしました。交流会「地産地消のおもてなし」は、まほろばキッチンにおいてなごやかに開催されました。



## 全国菜の花サミット in やまと 第2日 (分科会) (4/10)

### ★奈良会場 ESD・世界遺産学習

4月10日は3分科会に分かれました。奈良会場は奈良教育大学との共催で、同大学を会場として「ESD(持続可能な開発のための教育)・世界遺産学習」をテーマに実施し、約100名が参加しました。

基調講演に環境文明21の藤村コノエ代表を講師に迎え、COP21「パリ協定」を踏まえての環境教育の在り方や菜の花プロジェクトの可能性について、示唆に富んだ有益なお話をさせていただきました。奈良市フィールドは、奈良市地球温暖化対策地域協議会の環境教育プロジェクトの中で、幼稚園や小学校の授業として進めている世界遺産学習で、世界遺産の社寺に園児・児童が育てた菜種油を奉納している活動を、六条幼稚園が代表して発表しました。また、斑鳩町が2012年から取り組む小学校での菜の花プロジェクトの活動発表を、明日香の未来を創る会が明日香村稲渚での棚田の景観・自然を守る活動の中での米作りや菜の花プロジェクトの活動紹介をしました。薬師寺へのエクスカージョンも好評でした。



## ★桜井会場 観光・食・農で地域を元気に！

ウェルネス桜井 → 藤原京旧跡の菜の花と世界遺産について → 高家の菜の花畑となら食と農の魅力創造国際大学校見学 → 天理市トレイルセンター → 崇神天皇陵と大和橘 → 景行天皇陵と菜の花畑 → 桜井駅

上記コースを桜井市提供のバス2台で移動。78名（内ボランティア18名）の参加がありました。藤原京旧跡では、資料館を見学後、藤原京についての説明を聞き、周囲の菜の花畑を散策しました。その後、さくらい菜の花プロジェクトの圃場と奈良県の施設を見学し、天理市トレイルセンターで昼食休憩を取りました。お弁当は「奈乃葉菜油と橘」を使った体に優しい薬膳料理です。それに加え、ボランティアの方々がデザートとコーヒーを用意して下さり、参加者はもてなしにとっても満足され、山の辺の道の散策と古墳の解説を楽しまれました。



## ★葛城会場 奈良のエネルギーとファームキッチン

葛城分科会では、「奈良のエネルギー」をテーマに奈良で行われている取り組みの発表がありました。エコ葛城市民ネットワークは、廃食油を使ったキャンドルナイトの集いの開催、ならコープは、廃食油の回収、それをBDFに精製し配達車に使用、また、太陽光発電・水力発電への取り組み支援を報告しました。地域未来エネルギー奈良は、太陽光市民共同発電所の取り組みや小水力や木質バイオマス利用の取り組みについて発表しました。また、クリーンエネルギー奈良は、木質バイオマス発電所の建設や今後の課題について、奈良県エネルギー政策課から、今の奈良県のエネルギー状況の報告がありました。

第2部として、健康効果が注目されている葛城市の特産「桑の葉」をたっぷり入れて作ったお弁当をみんなでおいしくいただきました。



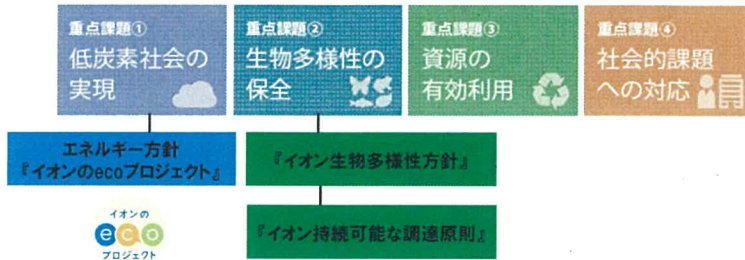
# イオンリテール株式会社の 環境保全の取り組みについて



フォーラム会員である企業の  
環境保全の取り組みについてご  
紹介します

イオンでは、これまで基本理念に基づき、さまざまな環境活動や社会貢献活動に取り組んできました。現在はこれまでの取組を体系化した「イオン サステナビリティ基本方針」(2011年3月策定)をもとに、4つの重点課題「低炭素社会の実現(CO2の削減)」、「生物多様性の保全(自然の恵みを守ろう)」、「資源の有効利用(資源を大切にしよう)」、「社会的課題への対応(よりよい社会をつくろう)」を柱として、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を積極的に推進しています。

**【イオン サステナビリティ基本方針】**  
ステークホルダーとのパートナーシップのもと、  
を4つの重点課題を柱として、持続可能な社会の実現を目指します。



## 植樹活動

1991年から「イオンふるさとの森づくり」など植樹活動に取り組んでいます。

## 買物袋持参運動

2013年より、総合スーパー「イオン」の食品フロアにおけるレジ袋を有料にて提供し収益金は、地域の環境保全活動に役立てられています。イオン奈良店では、レジ袋辞退率は、87%でした。

## 店頭資源回収

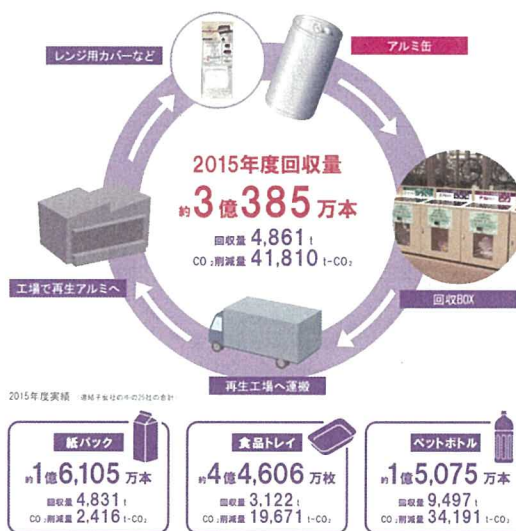
アルミ缶や紙パック・食品トレイなどの店頭回収

## イオンチアーズクラブ

次世代を担う子供たちとともに環境問題に取り組んでいます。全国で約440クラブ、約7900人の子どもたちが活動しています。イオン奈良店チアーズクラブでは会員50名、年間9回の活動を行っています。年間活動は壁新聞にして、地区大会で発表しています。昨年のテーマは、「植物」でした。



(イオン奈良店 桐山)



## 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

## 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ!り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL：0742-27-8732 E-mail：kankyo@office.pref.nara.lg.jp